

# 5. 緑区遺産紹介

鴨居駅周辺エリア

**登録番号** 8 **奇利吹の瀧** **鴨居二丁目** ◆平成27(2015)年登録

**交通**  
電車：JR 横浜線「鴨居」駅南口から徒歩 10 分



奇利吹の瀧は、林光寺参道右側にあり、出羽三山の山岳信仰の人たち（出羽三山講）が、この滝に打たれて修行したといわれています。また、三山参りに行くとき、代表者がこの滝に打たれ行の無事を祈願したともいわれています。境内からは、都筑区方面の眺めも良く、桜や藤の花が素晴らしいです。

**申請団体**  
緑区生涯学級「横浜線ものがたり」

広く急な登り坂の参道中腹右手に、緑に囲まれ赤い地肌を見せる瀧が現れます。参道は車の通行もありますので、周囲に注意して参拝してください。

**登録番号** 3 **東本郷第一公園からの山岳展望** **東本郷二丁目** ◆平成26(2014)年登録

**交通**  
電車：JR 横浜線「鴨居」駅南口から徒歩 13 分



公園内に設置された山岳展望図に記載されており、冬の晴れた日などには、国内標高第1位の富士山、第2位の北岳、第3位の間ノ岳と、上位三つの山をほぼ同じ場所から見るができます。この場所を「ビューポイント」と記載しているウォーキング地図もあり、年2回のダイヤモンド富士が見られる日（2月、10月）には、多くの人が訪れます。

**申請団体**  
東本郷ばらの会自治会

隣接地の樹木により景観が損なわれないよう、公園愛護会メンバーが見回りをし、枝打（木・枝の伐採）を地主の方へお願いするなどしています。

▲富士山（標高第1位 3,776m）

▼北岳（右側）（標高第2位 3,193m）

▼間ノ岳（左側）（標高第3位 3,190m）



**ちよい知識**  
**間ノ岳の標高**

間ノ岳の標高はもともと国内第4位でした。平成26(2014)年4月1日付で国土地理院が公開している「日本の山岳標高一覧」が更新されたことにより、奥穂高岳に肩を並べ国内第3位となりました。標高が変わった理由は、頂上などにある三角点を衛星の電波で測り直したことによるもので、以前より正確な標高となりました（更新前：3,189m）。



鴨居駅周辺エリア

全部巡ると約40分

# 5. 緑区遺産紹介

鴨居駅周辺エリア

登録番号 **4** はくさんじんじゃひ **白山神社の碑**

交通 電車：JR 横浜線「鴨居」駅南口から徒歩 15 分

白山二丁目 ◆平成 26(2014)年登録



白山神社の「仰神徳の碑」は、神社の氏子主体に集められた資財により、昭和 12 (1937) 年 1 月に竣成された社殿の記念碑として撰書されました。碑には、下猿山（現在の白山地区周辺）の村社であった神社が関東大震災などの被災で荒廃したこと、それを 10 余年後に地域が一致協力し再興したこと、その当時の神域に対する畏敬の念などが記され、歴史を伝えています。

白山神社と仰神徳の碑には、地域住民が散歩する時に、多くの方が立ち寄り参拝されています。地域住民にとって心の拠り所になっています。



登録番号 **5** かもいすぎやまじんじゃえま **鴨居杉山神社の絵馬**

交通 電車：JR 横浜線「鴨居」駅南口から徒歩 10 分

鴨居四丁目 ◆平成 27(2015)年登録

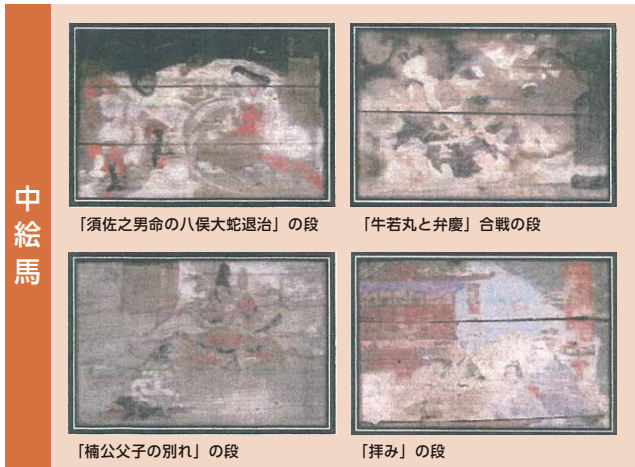


大絵馬

【国姓爺合戦】和藤内の虎退治の段 絵師「歌川国喜三吉」

【鬼一法眼六韜三略】の段 絵師「歌川宗近」

1850 ~ 60 年代頃に奉納され、当時の様子を伝える地域の貴重な歴史的資源として、鴨居杉山神社奉賛会に保存・管理されています。通常は非公開ですが、正月 1~3 日、杉山神社祭礼（9 月最終日曜日）や七五三の際に公開しています。



中絵馬

【須佐之男命の八俣大蛇退治】の段

【牛若丸と弁慶】合戦の段

【楠公父子の別れ】の段

【拝み】の段

嘉永年間 75 戸の鴨居村で、大絵馬が神社に奉納されたことは、貴重な遺産と考えられます。



鴨居駅周辺エリア

全部巡ると約 50 分



## 白山ハイテクパーク

白山ハイテクパークは、エレクトロニクスを中心とした先端技術産業の研究開発施設が集まる、横浜市の「ハイテクパーク第 1 号モデル」です。敷地内は緑が多く、地域に開放されているグラウンドもあります。パーク内の施設の一つ、ジャーマンインダストリーパークには、ドイツをはじめ様々な国の企業が入って研究等を行っており、建物内はドイツのシュヴァルツヴァルト（黒い森）をコンセプトに建設され、木目の美しいレストランやロビーにある壁一面の大きな窓にそのモチーフを見ることができます。



## 女神像地神塔

鴨居稲荷神社には、享和 3 (1803) 年在銘の地神塔があります。花を挿した水瓶を両手で抱えた天女型立像を浮き彫りとしたものです。農村では、地神を土地の神様（農神）として崇めていました。地神塔の多くは文字塔で、神像の中でも武神の姿の男神像はありますが、女神像は特に稀少です。この女神像地神塔は、横浜市指定有形文化財になっています。



右が女神像



# 5. 緑区遺産紹介

登録番号  
**6**

## ごはん塚

鴨居七丁目 ◆平成27(2015)年登録

交通

バス停：「鴨居七丁目」  
(鴨居駅前から市営・神奈中バス119系統・新井町経由 鴨居駅前行き、市営バス172系統に乗り換) から徒歩2分



ごはん塚は、元久2(1205)年に現在の旭区二俣川付近で起こった「二俣川の戦い」において、御家人**畠山重忠**が北条義時の軍勢に敗れた際、逃げ延びてきた家来たちが北条氏の追撃により討ち取られた地です。村人が亡骸を手厚く葬るために、この塚を建てたと言われています。「ごはん塚と呼ばれる由来は「ご飯の時に襲われたから」「旭区から鴨居まで5個の塚があったから」「ご飯を茶碗に盛ったような塚だから」など諸説あります。

ちよい知識

はたけやま しげただ  
**畠山重忠**

畠山重忠が敗れた二俣川の戦いでは、北条氏数万の軍勢に対し、重忠側は僅か135騎だったと言われています。北条氏に謀反の疑いをかけられた重忠でしたが、幕府に対して異心はなく、「進んで討たれても武士の名誉を重んずる」と、国に帰って陣を立て直すことなくこの地で最期を遂げました。重忠については、2022年放送開始のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」にも登場します。

「英雄三十六歌撰 畠山重忠」  
(馬の博物館所蔵)



**4 地神塔**

緑区内でも古い年代の地神塔です(寛政12(1800)年)。地神塔についてはP.8参照。

**2 竹山団地のイチョウ並木**

ごはん塚から東に徒歩約10分です。秋の黄色く色づいたイチョウ並木は、散策するのにピッタリです。

**3 鴨居原市民の森(北地区) 鴨居原市民の森(南地区)**

南地区にある「ハンカチの木広場」からは、富士山や南アルプス連山、東京スカイツリー、横浜ランドマークタワー、新宿副都心のビル群が望めます。

**5 鴨居原遺跡**

鴨居原市民の森(南地区)と神奈川区の間付近で、縄文時代早期の竪穴住居跡や陥し穴などが見つかりました。現在は埋め戻されており、遺跡の様子はうかがえません。

民有地のため立入可能エリア以外には入らないください。立入可能エリアにおいても、ごみのポイ捨てや生物の採取などは絶対にやめてください。

門を向かって左側から回りこむ

立ち入り可能エリア

**6 拡大図**

ごはん塚付近から見る青葉区・都筑区方面の景色はとても美しいよ！散策マナーを守ってね！

**1 ちよいスポット 竹山池**

竹山団地の中央には、団地のシンボルとも言える人工の「竹山池」があります。竹山池周辺活性化推進委員会による「かいぼり(P.18参照)」や外来種釣り(駆除)などで、池の清掃や在来種保全活動等が行われるとともに、夏には花火大会などの会場にもなっています。

鴨居駅周辺エリア

全部巡ると約80分